

平成 2 4 年

第 4 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成24年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり主な事項についてご報告をさせていただきます。

はじめに

今年の夏は例年になく猛暑が続いておりますが、夏休み期間中、特に大きな事故もなく、子どもたちは元気に学校活動を再開したところであります。

昨年11月3日に発生しました、仙北市民会館ホール天井照明ボックス点検用蓋落下事故についてですが、去る7月2日に被害に遭われました方と和解が成立いたしました。

怪我をされました方をはじめ、関係者、市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

市民会館は、事故発生後、天井照明ボックス改修や吊り天井の吊ボルトの振れ止め対策工事等の安全対策を実施し、去る6月20日から使用できるようになりました。

教育委員会として、この事故を重く受け止め8月30日付けで、それぞれの責任の度合いに応じた関係職員の処分を行いました。

処分内容は、訓告2人、厳重注意3人です。

今後は、安全管理に十分注意を払い、危機管理を徹底し、皆様から安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

【教育指導課】

角館町育英会解散に伴う寄附金について

昭和30年から56年続いた角館町育英会（仲野谷藤吾会長）の奨学資金貸与事業が、今年度から「仙北市育英奨学資金」に一本化されたことに伴い、去る7月5日にその財産の全額が市へ寄贈されました。寄贈額は、現金、債権合わせて64,425,332円となります。

角館町育英会は、7月19日の総会をもって正式に解散となりました。

なお、この寄附金により「仙北市育英奨学基金」の積立額変更に伴う仙北市基金条例の一部を改正する条例及び関連する補正予算について、今定例会に上程しておりますので、ご審議をよろしく願います。

かくのだて幼稚園の耐震化・アスベスト除去工事について

かくのだて幼稚園から工事の早期開始に向けて、角館東地区公民館への仮園舎の設置、給食提供、工事費補助の要望が市に提出されております。市としましても、幼稚園児の健康不安の解消と安全・安心の確保、保護者の不安解消のため仮園舎の設置、給食提供の便宜等できる限りの支援を予定しております。

工事費の補助金についても、今定例会に補正予算として上程しておりますので、ご審議をよろしく願います。

全国学力・学習状況調査の結果について

昨年度、大震災のため実施が見送られました本調査は、本年4月17日、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に、これまでの国語と算数・数学に新たに理科を加えて、抽出校方式で実施されました。

本市においては、文部科学省による抽出調査校が小学校3校、中学校2校の計5校、これに他の市内7校も自主的に希望利用校として参加し、自校の学習状況の把握と今後の活用を目的に市内全ての学校で調査を実施しております。

抽出調査校の結果は8月8日に公表され、秋田県は小・中学校とも全国トップレベルの結果がでております。

本市5校の結果も文部科学省から報告されており、希望利用校7校を含めた本市の状況は、調査対象全教科について小学校、中学校とも全国平均を上回り、小学校の国語、算数、中学校の理科においては、抽出校の県平均値も上回り、学力調査については概ね良好な結果となっております。

今後は、結果の分析から本市の課題を明らかにするとともに、調査結果を活用した授業等の改善へ向けて、各校での取り組みを進めて参ります。

市内中学生の富士河口湖町訪問について

農林部農山村体験デザイン室が主管する「仙北市環境学習子ども交流事業」として、本市中学生5人（生保内中3年生徒3人、西明寺中2年生徒2人）が、8月3日から2泊3日の行程で、山梨県富士河口湖町を訪問いたしました。

西湖・河口湖の見学、クニマスの稚魚の見学、現地自然観察教室への参加と交流、クニマス学習の発表及び山梨県立博物館で開催中のクニマス特別展の見学等をいたしました。

参加した生徒からは、クニマスを改めて見直す機会として充実した体験となったことが感想として述べられております。今後は、在籍校の生徒や保護者への体験発表の機会を設け、本事業の目的である環境維持改善の視点から、クニマス問題の将来を考える中学生育成につなげていきたいと考えております。

なお、9月16日の田沢湖マラソンには、富士河口湖町の小学生6人がペアマラソンに出場し交流する予定であります。

田沢湖・西湖の姉妹提携を通じ、交流や活動がますます広がっていくことを期待しています。

学校給食費及び幼稚園授業料の児童手当からの特別徴収について
本年4月の改正児童手当法により、児童手当から保育料、幼稚園授業料及び学校給食費等について、申し出による引き去りを行うことができる特別徴収の仕組みが設けられました。

この制度により、市民の納付の際の利便性を高めるとともに、滞納防止策として、10月支給分から取り扱うことといたしました。今後、周知を図り特別徴収を勧めて参ります。

【生涯学習課】

社会教育中期計画策定について

第2次社会教育中期計画（平成25年度～29年度）策定のため、社会教育委員及びスポーツ推進委員長で構成する策定委員会を7月31日に開催しました。現在の社会教育中期計画を引き継いだ形で、4部会（推進部会、社会教育推進部会、社会体育部会、芸術文化部会）で検討を重ね、平成25年2月下旬までに、この中期計画を策定する予定です。

国民文化祭について

2014年に秋田県で開催される国民文化祭の秋田県実行委員会が去る7月12日に設立され、それを受けて仙北市の実行委員会を8月6日に設立しました。実行委員会では、仙北市で開催する事業（民俗芸能の祭典や大正琴コンサートなど10事業）の実施について承認されました。今後は、関係団体等で構成する事業別企画委員会を組織し、具体的な計画立案に向けた協議、検討を経て、10月下旬までに事業内容を決定することになります。

仙北市成人式について

8月15日に開催した仙北市成人式の出席者は、245人中192人でした。今年の成人式は、成人者が主体となって企画し、各中学校毎の新聞作成や久しぶりの友との再会の様子を映像で紹介するなど、趣向を凝らした成人式となりました。

映画「道～白磁の人～」上映会について

日韓双方の教科書に、その名と功績が載っている数少ない日本人・浅川巧の半生を綴った映画「道～白磁の人～」を仙北市民会館で8月19日に、秋田県内で最初に上映しました。

この映画は、一人でも多くの方に浅川巧の生き様を知っていただき、日韓双方が尊敬しあえる関係を築く一助になることを願い、紆

余曲折を経て、昨年から日韓共同で制作が進められていたものです。

上映にあたり、映画「道～白磁の人～」上映会実行委員会（会長高橋練三仙北市国際交流協会会長）を組織し、PR活動に取り組みました。上映会には、中・高生約120人を含む700人ほどの入館者があり、日韓友好の架け橋となる映画に深く感動を受けた様子でした。

【学習資料館・イベント交流館】

「武士の日記を読む」展・「遠野物語をめぐりて」展・「川端かわばた
りゅうし龍子」展について

秋田県公文書館の協力のもと「武士の日記を読む」展を6月30日から7月29日まで、わらび座舞踊詩「遠野物語」とも関連する柳田国男没後50年「遠野物語をめぐりて」展を8月4日から9月2日まで開催し、それぞれ多くの入場者が訪れ好評の内に終わることができました。

また、平福記念美術館と樺細工伝承館との三館合同企画展として、9月16日から11月23日まで「川端龍子」展を開催いたします。大田区立龍子記念館をはじめ、龍子ご遺族の方々のご協力を得て、東北では見る機会の少ない龍子作品が展示されますので、多くの方々にご覧いただきたいと存じます。

【スポーツ振興課】

仙北市体育施設マスタープラン（案）について

仙北市体育施設マスタープランについては、仙北市体育施設マスタープラン策定委員会を設置し、今年1月から7月まで8回に渡って委員会を開催し、7月27日に教育長あて策定に係る提言書をいただきました。

これを受け、体育施設の今後の整備方針として、仙北市体育施設マスタープラン（案）を作成しましたので、本定例会会期中に皆様からご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしく願いいた

します。

東北総合体育大会について

仙北市でカヌー競技と馬術競技を実施しました。

7月21日(土)と22日(日)の生保内カヌー競技場におけるカヌー競技は、平成23年度に人工の競技コース完成後、初めての大会でしたが好天にも恵まれ盛会裏に終了しました。

仙北市関係の選手の成績は、男子スラロームで秋田県体育協会所属の佐々木翼選手が優勝、男子ワイルドウォーターで秋田県カヌー協会所属の佐々木優選手が優勝、また、女子ワイルドウォーターで角館南高校の佐藤綾乃選手が準優勝で、3人の選手は9月29日から開催される「ぎふ清流国体」へ出場します。

また、8月17日(金)から19日(日)の3日間、仙北市馬術競技場において馬術競技が開催されました。成年女子の馬場馬術で仙北市在住の益子裕芽子選手が優勝、少年の馬場馬術で角館高校の山崎詩乃選手が準優勝、成年女子の標準障害飛越で仙北市西木町出身の新山有貴選手が準優勝となりました。

今後、皆さんのさらなる活躍をご期待申し上げます。

第27回田沢湖マラソンについて

9月16日(日)に田沢湖畔を主会場に、第27回大会を開催すべく準備を進めているところです。今年は、昨年より400人多い5,178人の参加申し込みをいただいております。

例年、田沢湖畔への車両の進入で渋滞していることから、今年は早めにホテルタザワの駐車場へ誘導したいと考えております。会場周辺の交通規制について、市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

【平福記念美術館】

福島よねくらとおるの画人「米倉 兌・ひろながたけひこ廣長威彦」展について

6月30日から東日本大震災復興支援【がんばろう福島！】福島の画人展と題し、米倉兌先生、廣長威彦先生の二人展を開催しております。開催初日には、廣長先生と米倉先生のご息女、米倉みなと氏をお迎えしてオープニングセレモニーを行いました。また、ルネッサンス・角館の主催によるトークショー「画家が語る作品の周辺」が開催されました。

廣長先生は、これまで何度も角館を訪れ、作品を多数制作し展示会も開催されていたことから、角館町内の方々が先生の作品を楽しみにご来館される姿が見られます。そして米倉先生は、生前墨彩画の教室をされており、その生徒であった方々も先生を懐かしみ、福島県からご来館されております。今回の展示会は、来館者の滞在時間が長いことが特徴です。廣長先生の描く全国各地の風景と米倉先生のやわらかな墨彩画は、多くの方の興味を引き、目を楽しませているようです。会期は、9月10日までです。大勢の方々のご来館をお待ちしております。

「川端龍子^{かわばたりゅうし}」展について

9月16日からは、樺細工伝承館、新潮社記念文学館との三館合同企画「川端龍子」展を開催いたします。平福百穂と親交の深かった著名な画人である川端龍子の大規模な展示会であり、多くの方々からご協力をいただいで準備を進めております。仙北市民はじめ大勢の皆様のご来館をお待ちしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げますが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます教育行政報告といたします。